

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱 UFJ ニコス株式会社（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- (1) 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）の完全子会社のクレジットカード会社。会員事業、加盟店事業、受託事業などを展開しており、各分野で国内トップクラスのプレゼンスを誇る。当社は MUFG グループと資本、人事、営業、資金調達などの各面で密接な関係を構築している。また、当社はグループの決済事業領域の中核を担うなど戦略上の重要性が高く、グループとの事業の結び付きが強い。これらを踏まえ、当社の格付は、グループ信用力を反映した中核子銀行の長期発行体格付（三菱 UFJ 銀行：AA/安定的）の1ノッチ下としている。グループとしてデジタルトランスフォーメーションへの取り組みを強化する中、当社が提供する決済サービスのプラットフォームとインフラの重要性はより高まっていくと JCR はみている。
- (2) 三菱 UFJ 銀行の顧客基盤などを背景に国内トップクラスの会員数や加盟店網を有しており、これまでカードショッピング取扱高は順調に拡大してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて旅行、交通分野などを中心に消費が落ち込んでおり、カードショッピング取扱高は当面伸び悩む可能性がある。会員事業、加盟店事業、受託事業と収益源が分散しているものの、カードショッピング取扱高の減少により営業収益は成長が鈍化する公算が大きい。また、長年の懸案である3システムの統合も時間を要すると想定され、その費用負担は相応にかかるとみられる。償却引当金の利益による与信費用等の吸収力、経常利益ベースの ROA でみた収益力などは低水準にとどまっている。今後は新型コロナウイルス感染症による取扱高および与信費用への影響度合いとシステム統合計画の内容を見極める必要があるが、中期的に利益には下方圧力がかかると JCR はみている。
- (3) 資産の質はおおむね良好である。延滞債権比率や貸倒償却率はかつての水準よりも低位で安定しており、与信費用は一定水準で抑制されている。ただし、経済活動の低迷が長期化した場合、与信費用が上振れる可能性に留意する必要がある。利息返還金については、長期的にみると返還請求件数や返還金額が減少傾向となっているが、近年の減少ペースは緩やかである。19/3 期に続き 20/3 期も引当金の追加繰入を行っているが、今後は期間利益内での水準にとどまるものと考えられる。連結自己資本比率は 20 年 3 月末で 4.7%（19 年 3 月末 2.4%）。19/3 期にシステム統合計画見直しにかかる減損損失で棄損した自己資本は、20/3 期の子会社売却などを背景に増加した。リスク量対比でみた資本充実度も改善したものの、一層改善が進むか JCR は注目していく。流動性に特段の懸念はない。三菱 UFJ 銀行を中心に強固な間接調達基盤を構築している。

（担当） 大山 肇・浅田 健太

■ 格付対象

発行体：三菱 UFJ ニコス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000 億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2020 年 10 月 16 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「信販・クレジットカード」(2013 年 7 月 1 日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019 年 3 月 29 日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 三菱 UFJ ニコス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果の確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル